

令和4年度

西宮文学案内

後期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。
関わりある作家や作品をとり上げその魅力を探っていきます。

第1回 対談 小田実の思い出

永遠の世界旅行記『何でも見てやろう』や「ベ平連」などの反戦平和運動、また震災後「被災者生活再建支援法」成立に大きく寄与した小田実氏は、ロータス文学賞、川端康成文学賞受章作家。阪神間モダンイズムを愛し、住み、西宮や神戸が舞台の小説や評論も多数。ギリシャ古典文学がルーツの小田氏と戦後デモクラシーの軌跡を辿ります。 ※写真はご遺族提供

令和5年 2月3日(金) 15:00～16:30

西宮市大学交流センター 大講義室

(北口町1-2 アクタ西宮東館6階) ・阪急「西宮北口駅」北東 徒歩2分

山村雅治 やまむらまさはる (詩人・作家)

1952年芦屋市生まれ。「山村サロン」創設。小田実の知遇を得て文学サロンを始める。阪神・淡路大震災を機に被災者支援のため小田氏と活動。著書多数。

河内厚郎 かわうちあつろう (文化プロデューサー)

1952年西宮市生まれ。演劇評論家。元「関西文学」編集長。兵庫県立芸術文化センター・特別参与。阪急文化財団理事。芦屋市民センター運営受託者。宝塚市大使。はびきの市民大学学長。西宮市文化振興財団評議員。著者に『わたしの風姿花伝』『淀川ものがたり』など。

進行：蓮沼純一 はすぬまじゅんいち
(西宮芦屋研究所)



第2回 鴨居羊子は終わらない

下着革命で世に出たころ、鴨居羊子は香檳園に暮らし、ノラ猫や犬と心を通わせていた。珠玉のエッセイにつづられた孤独。没後32年、異才は折に触れ蘇る。

令和5年 3月3日(金) 15:00～16:30

西宮市立勤労会館 ホール (松原町2-37)

・JR「西宮駅」南西 徒歩7分
・阪神「西宮駅」東 徒歩8分

講師：石野伸子 いしののぶこ (ジャーナリスト)

1951年生まれ。元産経新聞編集委員。大阪ゆかりの作家に関する冊子「浪花女的読書案内」(産経新聞編集センター)がある。帝塚山派文学学会運営委員。



第3回 山崎豊子の女～阪神間の物語について

船場物語から海外まで、山崎豊子は著作の世界を広げましたが、阪神間在住者にとって興味深いのは、『女の勲章』や『華麗なる一族』などでは? そのような作品を取り上げ、特に女性たちの生き方に注目したいと考えます。

令和5年 3月18日(土) 15:00～16:30

西宮市立勤労会館 ホール

※ 同上

講師：堀江珠喜 ほりえたまき (大阪府立大学 名誉教授)

1954年西宮市生まれ。中学から大学院修士課程まで神戸女学院。1982年神戸大学にて学術博士号取得。専門は英文学・比較文学。『男はなぜ悪女に惹かれるのか?』(平凡社新書)、『「人妻」の研究』(ちくま新書)など著書多数。



◆単発受講可。但し、抽選となる場合は連続受講希望の方を優先します。

定員◆第1回 70名 第2回 200名 第3回 200名

受講料◆各回500円

お申込み◆ハガキ、FAX、ホームページ申込フォームの何れかにて①受講希望日②郵便番号③住所④氏名⑤ふりがな⑥年齢⑦電話番号を記入の上お申込みください。

締切/1月11日(水)必着

※ 定員に満たない場合は締切後も受付可。

宛先◆〒662-0918 西宮市六湛寺町10番11号

(公財)西宮市文化振興財団「西宮文学案内」係

FAX.0798-33-3455 ホームページ <https://nishi-bunka.or.jp/>

※ 複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①～⑦を記入ください。申込フォームはお一人毎に入力ください。

※ 定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。当落結果は1月中旬に郵送します。

新型コロナウイルス感染予防にご協力をお願いいたします

- ・37.5℃以上発熱のあるお客様は入場をお断りします。
- ・マスク着用および手指消毒をお願いいたします。マスク着用のない方は、入場をお断りする場合がございます。
- ・出演者への面会をご遠慮ください。
- ・ご応募いただいた個人情報、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がございますのでご了承ください。
- ・感染状況によっては中止となる場合がございます。